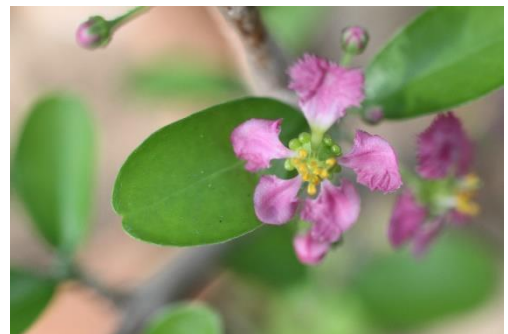


薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
5月2日
第40号



トクサ (トクサ科)

常緑であるため、庭などで鑑賞用に植えられています。『和漢三才図会』には、「物を研ぐこと石のごとし、ゆえに研ぎ草という」とあります。砥石の代用ですね！茎を温湯で煮て乾かして、物を磨くのに使ってたようです。珪酸塩を含んだ茎が物を磨くのに適していることですね。植物の漢名は「木賊」で、「トクサ」と読みますが、これは全草を乾燥させて製造する生薬の名「木賊（モクゾク）」と同じとなり、多義語となっています。生薬のモクゾクは、民間薬として眼疾患に用います。

アセロラ (キントラノオ科)

温室で5枚のピンク色の花弁を持つアセロラの可愛い花が見られます。西インド諸島、熱帯アメリカ原産で、日本では主に鑑賞用に栽培されています。花の咲き始めはピンク色で、次第に白色となり、翌日に散ります。両性花で自家受粉し、秋頃まで開花、結実をくりかえします。結実した果実はサクランボに似ているため、バルバドスザクラの別名があり、東山植物園ではこの名で展示されています。この赤い果実に含まれるビタミンCは、レモンの10倍とか30倍と言われ、健康食品としても使われています。この果実はあまり日持ちしないので、ジャム、ゼリーなどの加工食品、あるいは清涼飲料水として使われています。

ユリノキの花

ヒトツバタゴの花

綺麗に咲いています！！